

はぎやま

令和八年五月三十一日発行

第一六二号

東京都立萩山実務学校

東村山市萩山町一・三七・一

☎〇四一(三四二)六〇一一

巻頭言

都立萩山実務学校校長 稲葉 薫

四月一日から、萩山実務学校の校長に着任しました稲葉です。ここで暮らす子供たち一人ひとりの中に、そして子供たちの成長を見守る私たち職員一人ひとりの中に、学校理念である「思いやりと感謝の心を育てる」ことができるよう努めてまいりたいと思います。

さて、新しい年度を迎え、子供たちの学年は一つずつ上がり、クラス編成や寮のメンバーにも変化がありました。皆さんは、どのように感じているでしょうか。

二年生だった子供たちは新三年生となりました。自分のこれからの進路について、いろいろと考える時間が増えていくようです。自分のやりたことだけでなく、得意なことや不得意なことも含め、じっくりと自分のことを見つめ直し、考える時間はとても大切です。長い人生の中で、大きな決断を迫られる時は何回もやっ

てきます。十代の子供たちにとって、今がその一つかもしれません。自分だけではどうにもならないこともあると思います。そういう時には、少し顔を上げて周りに目を向け、いろいろな人に話を聞いたり、情報を集めたりしてみましよう。一人では思いづかなかったことに気づけることもあります。自分のことを自分で決めることは簡単なことではありませんが、自立に向けた大切なステップです。たくさん悩むことも、そしてうまくいくことだけでなく、うまくいかなかったことがあることを知ること、大きな成長につながります。

新二年生になった子供たちは、三年生の変化を身近に感じながら、自分のこれまでの生活を振り返り、これから先の新たな目標を考えているかもしれません。四月以降、一年生も加わり、皆さんにも先輩ができて、先輩になりました。自分のことだけではなく、先輩の皆さんの手本にもなれるように、少し意識してみることとも成長につながります。十代の一

年間には、大きく成長できるチャンスがたくさんあります。自分自身でも成長を感じられるように、いろいろなことにチャレンジしてみてください。分校の先生も、寮の職員も、皆さんの一生懸命な姿を心から応援しています。自然豊かな環境の中で、たくましく成長してくれることを期待しています。

一年生に限らず、新たに萩山へ来た皆さんは、初めての環境の中で、戸惑うことがたくさんあるかと思いますが、そんな時は、いつも皆さんに寄り添い、毎日の生活や学習を支える先生や職員を頼ってください。皆さんが、ここで自分なりの生活や居場所をつくっていく姿を、いつも応援しています。

最後になりますが、分校の先生や寮の職員にも、四月から初めて萩山の一員になった人たちがいます。私もその一人です。大人になっても、新しい居場所に身を置くことは緊張しますし、わからないこともたくさんあります。一方で、新しい出会いや、こ

れまでとは違う日常を過ごすことは、新しい自分を知る機会でもあります。特に、社会人としてのスタートをここ萩山実務学校で迎えた職員の皆さんにとって、ここでの生活はいかがなものでしょうか。思い描いていた仕事と実際の仕事、自分がやりたいと思っていたことと今の自分にできることに大きな違いを感じ、少し凹んでいる人もいるかもしれません。

でも、まだまだ萩山での生活は始まったばかりです。子供たちと同じように、皆さんも大きく成長できる一年です。少し長い目で見て、みんなと一緒に頑張っていきましょう。お互いに支え合い、励まし合いながら、萩山実務学校の一員となり、思いやりと感謝の心をたくさん育てていきましょう。一年後に成長した自分に出会う日を楽しみにしていきましょう。



「萩山の自然に親しむ会」

四月八日、萩山のグラウンドで新しいクラスごとに、レクリエーションを楽しみました。

お昼ご飯は、調理の先生が作ってくださいました、萩山特製弁当を美味しくいただきました。

五 寮 Oさん

四月八日に「自然に親しむ会」という行事に参加しました。

自然に親しむ会では、大縄跳び、じゃんけん、萩山の自然に関するクイズをしました。

勝ち負けにこだわらず、新しいクラスの人と担任の先生と一緒に参加できた事が楽しかったです。

昼食は、萩山特製弁当を皆と外で食べました。特に美味しかったのは、サクサクの衣と、ふわふわな身の白身魚のフライです。

自分が参加するのは、今年で最後でしたが、ずっと続いてほしい行事です。



「クラス紹介」

新年度を迎え、新しいメンバーと新鮮な気持ちで、新学期がスタートしました。そこで、担任の先生と子供達から、クラスについて紹介をしてもうりました。

「二年A組のクラス紹介」

担任 細谷 優花

春のうららかな日差しが、顔をのぞかせた若草にも降りそそぎ、木々の緑もまぶしい季節となりました。四月も終わりに近づいた日、新たに一年生を迎え、新しい決意とともに一年A組がスタートしました。

これからの学校生活では、授業や行事など様々なことを経験していきます。初めて取り組むことや初めて挑戦することもあるかもしれませんが、一年生の学年目標は「正しく自分を表現できるようにしよう」です。目の前のことに集中して取り組み、前向きに自分の思いを表現することで、どんな経験も、自分を成長させる機会となるはずです。

担任として、安心して学習に集中できる環境づくりを目指し、私も生徒たちと一緒に成長していきたいと思えます。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

「二年A組のクラス紹介」

さくら寮 Aさん

二年A組のクラス目標は、「想機和掬」です。意味は「思いやり」や「平和」です。クラスの方々と決めた、思いのこもった目標です。二年A組にあっている、とても良い目標です。

二年A組は、とても真面目なクラスで、授業もきちんと受けています。積極的な発言が多く、クラスの雰囲気もとても良いです。二年A組は、とても静かで、授業が受けやすいクラスです。

担任 田代 耕平



窓辺に差し込むやわらかな春の日差しと、萩山の自然に心を弾ませながら、新年度が始まりました。

進級当初は緊張した様子も見られましたが、「おはようございます」と気持ちのよい挨拶や、はきはきとした



た返事、丁寧な所作が随所に見られ、二年生として心機一転頑張りたいという思いが伝わり、安心しました。授業においても前向きに取り組み姿が印象的で、良いスタートを切る事ができています。

クラス目標は「想機和掬」です。クラスのみんなが目標にしたい言葉を出し合い、一つにまとめました。仲間を想い、目の前のことに集中し、授業や行事、様々な活動に誠実に取り組んでいけるよう、子供たちとともに一瞬一瞬を大切にしながら過ごしていきたいと思えます。一年間、よろしくお願いたします。

「二年B組のクラス紹介」

五 寮 I人さん

僕がいる二年B組は、クラスで決めた当番をしっかりやって、返事がしっかりできるクラスです。そんなクラスで、僕も頑張っています。

今年一年、みんなで力を合わせて、良いクラスにしていきたいです。



担任 前田 朋彦

散るといふ

飛翔のかたち 花びらは

ふと微笑んで 枝を離れる

桜が散る様子は何とも切ない感じがあります。それは新たな飛翔、始まりでもあります。今年度の二年B組はそんな前向きな決意や期待に満ちたスタートを切りました。

クラス目標は「一勉強要」。一人ひとりが「要」として、学習に「勉」め、「頑」張るクラスを目指します。日々の挨拶や返事は非常に気持ち良く、明るく爽やかな雰囲気です。また、何事にも前向きに取り組むことを通して、自分を正しく表現しようとする姿も、このクラスの魅力です。言葉を交わさずとも、一人ひとりの姿勢が自然と周囲にいい影響を与え、落ち着いた空気の中で学ぶことができていると思います。

今後、授業や行事を通して様々な経験を重ねながら、それぞれが新たな自分と出逢い、充実した時間を過ごしていけることが、楽しみではありません。一年後、更なる飛翔の春を迎えられるよう、大きく枝葉を伸ばしていききたいと思えます。



「二年C組のクラス紹介」

一 寮 Nさん

僕が今いる二年C組は、男子生徒は二名、女子生徒は二名で始まりました。

クラス目標は「懽たすき」です。

たすきの「た」が、大切にすること。

たすきの「す」が、素直・正直。

たすきの「き」が、気づくことです。

この三個を目標にして学習などを取り組んでいます。

「萩山の自然に親しむ会」では、O×クイズがありました。不正解でも、気にすることなく、クラスの場所に戻っても、「どっちが正解かなあ」と予想したりしました。

さらに、大縄跳びでは、二十四回以上跳べました。その時、「このクラスは、協力しあえるクラスなんだな」と思いました。

僕はこのクラスで、切り替えて、物事に集中できるようにしたいです。

担任 小澤 駿介

「進級」という節目に、期待・不安・意欲など、様々な感情を抱きながら令和八年度をスタートしました。そんな二年C組は、現在四名で学校生活を送っています。

安心・安全な学校生活を送るため、

「た(大切にすること)す(素直・正直)き(気づく)」という行動を土台に、一人一人が目の前のことに集中し、「なりたいたい自分」を目指して、授業に取り組んでいます。

そんな二年C組では、「挨拶無創

(あいべんむそう)」というオリジナルの四字熟語をクラス目標として創りました。元気のよい「挨拶」で授業を始め、一生懸命「勉」強に取り組み、自分の「無」限の可能性を、自分自身で「創」る、という想いが込められた言葉です。

この一年間、自分の可能性を、自身で創っていくみなさんを楽しみにしています。どうぞ、温かく見守ってください。



「三年A組の紹介」

四 寮 Nさん

僕がいる三年A組には、特に学級目標を決めていません。そのため、萩山実務学校で大切に行っている「自分の事に集中する」を意識し、より実践しているクラスです。

また、三年A組は、クラス単位で集まっている時、一番初めに呼ばれるクラスです。返事をしっかりしていないと、後のクラスにも影響するので、返事がより大事になります。だから、皆、意識して、元気に返事をしています。



担任 佐藤 雅彦

木々の芽吹きに生命の息吹を感じる季節、元気な挨拶とともに三年A組が力強く始動しました。落ち着いた雰囲気でも目の前のことに集中して取り組む姿から、最上級生としての意識が感じられます。

三年生にとって今年度は進路選択の年になります。初めて受験生になるという人も多いでしょう。受験と聞

くどくどしても勉強や成績、試験などの言葉が頭に浮かび、周りと自分を比べ、不安を感じる生徒も多いと思います。

しかし、進路とは「進む路」、つまり「生き方」を選ぶことです。「生き方」に正解はなく、目指すゴールも人それぞれです。今年はどこも自分と向き合い、考え、悩み、相談する、そんな一年にしてください。全力でサポートしていきます。

また、今年の思い出が勉強だけにならないように、日々の生活や皆さんの行事を通して良い思い出を作っていきましょう。今年一年よろしくお願ひします。



三年B組のクラス紹介

四 寮 Hさん

私がいる三年B組は、運動部が多く、中でも、半分が野球部で上手い人もいます。

また、普段の授業も、しっかり受けていて、ちゃんとした人が多いクラスだと思っています。

そして、担任の先生は、二年生の頃から英語を教えてくれている先生です。このクラスは、見た感じ、笑いが多いクラスです。なので、楽しそうなクラスであってほしいと思います。

四月に行われた行事「自然に親しむ会」では、大縄跳びにも参加しました。でも、自分が最初に引つかりまくったことが頭にずっと残っていて、回数などは覚えていません。ただ、三年生のクラスの中では、一番多く跳べたらしいです。さすが運動部が多いクラスだと思いました。



担任 丸山 真由理

三年B組は、生徒八名でスタートしました。

落ち着いた雰囲気の中で一人一人が自分の課題に向き合い、主体的に学習に取り組んでいます。最上級生としての自覚も着実に育っています。

日常生活の中での挨拶や返事を大切にしており、明るくはつきりとした声が教室に広がり、気持ちよく過ごせる環境づくりに努めています。

お互いを尊重し合い、落ち着いた中にも明るさと温かきを感じられる学級にしていきたいと考えています。

これから進路選択という大切な時期を迎えますが、それぞれが自信をもって次の一歩を踏み出せるよう支援していきます。



三年C組のクラス紹介

三 寮 Sさん

私たち三年C組のクラスは、お互いが、同じクラスになった進級式から今まで、ずっとと平穏な日々が続いています。

四月に行われた「萩山の自然に親しむ会」では、初対面でもフレンドリーに接することができていました。私もこの教室とこのメンバーで三年C組に共存できることをとても嬉しく思っています。

授業中も自分のペースで授業を受け、一人ひとりが積極的に取り組んでいます。

これからもよろしくお願ひします。

担任 斉藤 由佳

三年C組は、男子七名、女子一名の八名でスタートしました。

三年生に進級し、気持ちを新たに「自分と向き合いながら頑張っていこう」と、目の前のことに全力で取り組もうとする雰囲気、クラス全体に満ちています。特に、学習に対しては今まで以上に前向きに取り組んでいきたいという強い想いが感じられます。

また、行事等においても自分のことにはしっかりと向き合いながら、生活や集団の中で必要な力を身につけている姿が見られます。最上級生として、心身ともに大きく成長していることを感じます。とても良い雰囲気の中で、三年生としてのスタートを切ることができました。

今後も一人一人が自分自身に集中し、中学校生活最後の一年を大切に過ごせるクラスにしていきたいと思っています。



「三年D組クラス紹介」

五 寮 Sさん

僕たちのクラス三年D組は、個性があり、みんな、それぞれの目標に向かって日々の学校生活やクラブ活動を頑張っています。

その中で僕は、クラブ活動や勉強、クラス単位での行事を頑張っています。

特に、クラス単位での行事では、僕がクラスの中で一番生活が長いので、クラスの雰囲気などを大切にしていみんなをまとめる役割を頑張っています。

一年間、クラスのみんなで、自分の事に集中してよいクラスを作りたいです。



担任 矢部 峻隆

うらかな春の陽気の中、元気な挨拶とともに三年D組八名の学校生活が始まりました。

進級当初は新しい生活への期待と不安に緊張した表情が見られました

が、四月の生活目標である「あいさつ、返事、をはっきりと言いましょう」を伝えると皆さん笑顔で応じてくれました。面談でも、将来のことや新しい学年に対する決意など、最高学年に對しての思いの強さを感じました。

これから「進路」という一つの分岐点に直面します。ですが、こわがることはありません。「進路」は自分の生き方を考えるきっかけの一つに過ぎないのですから。どうしたらもっと楽しく生きられるのか、どうしたら充実感を得られるのか、人によって目標も様々です。

自分の生き方を問う第一歩を共に過ごせることを嬉しく思います。これから一年間どうぞよろしくお願ひします。



「高等部のクラス紹介」

けやき寮 Sさん

高等部では、一般教養(数学や英語など)や農場(作物を育てたりなど)、そして、SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)といった社会に出て役立つことをたくさん学んでいます。

自分的には「SSTが将来で一番使われるのではないか」と思っています。なぜなら、「相手が嫌がることをしないためには、どうしたら良いのか」「自分はこういう人なのか」など、難しいことを一生懸命学んでいるからです。

もちろん苦手な授業もいくつかありますが「やりたくないことをやらない」「やりたいことだけやっていい」では、将来絶対うまくいかないと思っっているので、やりたくないことも頑張っています。

これからもたくさんのことを学んで、社会に出た時にうまくいけるように頑張っていきたいと思います。



担任 宮崎 貴史

中学校を卒業した児童の日中活動の場所として、高等部があります。

具体的な活動としては、学習の時間や創作などの表現活動の時間、また心理担当職員によるソーシャルスキルトレーニングの時間があります。どの児童にとっても「安心して活動

に参加し、取り組めることができる」。そんな居場所であることを大切にしています。

それぞれのペースで、学習に取り組む、様々な経験を積み重ねることで、自分の将来に夢や希望を持つきっかけになってくれればと思っています。



「生活寮紹介」

寮で暮らす子供たちは、学年が上がり、新たな生活が始まっています。

子供たちから、どんな寮なのか紹介してもらいました。

「二寮の仲間たち」

Wさん

四月から寮の先生が代わりました。最初は少し不安でした。

「どんな先生が来るのか」

「優しい先生なのか厳しい先生なのか」など、いろいろ考えてしまいました。でも来た先生は、皆優しく困ったら相談に乗ってくれる先生達でした。

新しく来られた先生達は、一寮のルールや分からないことがあったので、そこは私も積極的に伝えました。

三年生になって私は教え係になりました。教え係で大変なのは新入生に物の整理や当番、他のことも教えることです。新入生は教えたら返事をしてくれるので、とてもやりやすかったです。

一寮での生活は、人が代わってもすることは変わらないので、当番や自分のやることはなるべく変えないように頑張っています。



「私が考える二寮」

Yさん

二寮に入所してから八か月が経ちました。八か月間生活して、私は二寮を誇りに思います。

二寮には頼れる職員が数多くいます。「不安」や「悩み」を気軽に相談できますし、「行事」も頻繁にあって楽しいと感じます。

職員は、いつも子どものことを考えてくれています。私もこれから進

路について考えようと思っているので職員と話していきながら決めていきたいです。

また、二寮に来てから興味を持てるようなことも増えました。いつも和やかな二寮に來られて本当に良かったです。他の子たちと協力してよい良い二寮を作っていきたいです。

「すごい三寮」

Hさん

三寮は元気で明るい寮です。寮の職員とも仲よくやっています。たのしい寮。

しっかり掃除をしていて、少しメリハリがある寮です。ごはんをモリモリ食べて、元気に運動と作業をしている寮です。

土曜日課をしっかりと、気が利いて、空気を読むことができる寮です。

三寮は思いやりの気持ちを持った優しい人がいます。たまに、にぎやかな時もある三寮です。



「四寮の紹介」

Iさん

私は、四寮の良い所を紹介します。まず四寮の良い所一つ目は、明るくて元気が良い所です。例えば、挨拶が元気です。そして、何かに取り組む時も、元気に取り組んでいます。

二つ目は、積極的に行動する所です。例えば、寮の庭で草刈りや草むしりを行う時、役割分担などがあると自分からやりにいっています。

三つ目は、自主的に学習を取り組む所です。例えば、毎日、分校からの復習課題に取り組み、自らノートに計算や漢字そして単語練習をするなど、四十分以上学習をしています。

最後は、メリハリや切り替えができる所です。例えば、寮は寮、学校は学校と切り替えや、やるときはやる所です。



「五寮の紹介」

Yさん

五寮は、緑豊かで平和な寮だと思います。

緑豊かだと思ふ理由は、寮の周りや中に植物がいっぱいあるからです。植物に水をあげたり、見たりするのは楽しいです。

平和な寮だと思ふ理由は、皆がルールを守って、お互いに思いやりながら生活をしているからです。自分はこの寮が大好きなので、この雰囲気継続出来るよう頑張りたいです。さらに協力してよりよい寮にしたいです。頑張ります。

「くら寮の紹介」

Tさん

私が所属するくら寮は、子どもが六人で職員が六人です。

寮の畑では、夏はキュウリやトマト、ナスなどを育てたり、冬には大根や白菜を育てたりしています。

また休日には、グラウンドや体育館で、バレーボールをしたり、バドミントンをしたりすることもあります。

くら寮では、いつも明るく挨拶をして、元気に学校に登校しています。しっかり時間を見て、メリハリをつけて生活をしています。



それぞれが目標や夢に向かって努力していききたいです。



「かしわ寮の紹介」

Wさん

今年のかしわ寮の先生方は、三人の先生が転動して、新しい先生が四人増えました。

私は、先生たちが増えて安心もありつつ、不安や心が揺れ動きました。

最初は「優しい先生なのか」「この先生は頼ってもいいのか」とか、いろいろ不安が大きくなっていました。でも、かしわ寮の先生は、すごく優しく、私が不安な時も、先生が声をかけてくれて、私は気が楽になりました。

私は、三年生なので、勉強や生活で、大変なこともあります。けれど、それこそ、恩人になる先生方にサポートしてもらいつつ、生活でも落ち着いて、真面目にやるべきことに取り組んでいきたいと思えます。

「げやき寮の紹介」

Mさん

げやき寮は、中学校を卒業した児童が生活している場所です。十月以降は中学三年生も来る事があります。

高校生は、それぞれの高校に通学しています。また、施設内にある高等部に通う児童は、学習や作業をしています。中にはアルバイトをして自立に向けた練習をする人もいます。

それぞれのスケジュールで行動していますが、みんなが揃う時には、スポーツをしたり、畑で野菜を育てたりしています。

げやき寮の特徴として、理髪や買い物、アルバイトに行く際に自転車を使用する事もあります。社会で自立していくのに「一番近い場所」にいる寮だと思っています。この寮で自立に向けて必要な事を身につけていけるように頑張ります。



「クラブ紹介」

子供たちは、クラブ活動で教職員と一緒に汗を流しています。

顧問の先生に各クラブを紹介していただきました。

「ブラスバンド部」

担当 飯沼由輝彦

ブラスバンド部では、子供と大人が一緒になって、音楽を楽しんでいます。音楽の楽しみ方は、人それぞれなので、楽器の演奏がうまくできるとかどうかは関係ありません。音を出すかどうかも関係ありません。それぞれが、それぞれの形で、一緒に活動を楽しむことが、ブラスバンド部の活動になっています。

そんなブラスバンド部の活動は、毎日が一期一会の連続です。今、この瞬間の音との出会い、音楽に参加している自分との出会い、一緒に音楽を楽しむ仲間との出会い。様々な出会いがそこにはあります。今年も、今、この瞬間の音楽を皆さんと楽しむ機会があれば幸いです。



「剣道部」

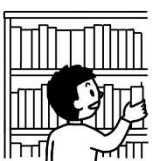
担当 前田 朋彦

今年度の剣道部は、例年に増して、一つ一つの練習員に真剣に、そして丁寧に取り組む集団です。スプリングスクールは徹底的な基礎練習に励み、美しい足捌き、素振りができるようになりました。

萩山剣道部の目標は、「楽しむこと」です。剣道という競技を通して自らの新たな一面と出逢い、そのことを楽しんでほしいと思っています。

多くの皆さんは萩山に来て初めて竹刀を握りますが、往々にして「初めて」というのは身構えてしまうものです。しかし、その「初めて」は自分を大きく成長させてくれるきっかけでもあります。皆さんが、剣道と向き合い、自分と向き合い、その成長を感じることが出来る良い時間が過ごせるよう、応援していきます。

今年度も萩山剣道部をよろしくお願いたします。



「サッカー部」

顧問 木幡 祐

今年のチームテーマは、「サッカーを楽しむ」です。人それぞれサッカーの楽しみ方は異なります。勝ち負けにこだわるのではなく、ドリブルができた自分、シュートが出来た自分を感じ、一人一人が今後の活動を通して、自分なりの楽しみ方を見つけてほしいと思っています。

春のスタートとしては、目の前のことに集中し、どうしたら上手くなるかなど考えながら練習する姿が見られています。今後も継続していければと思っています。これから、全員が楽しむことができる環境を大切にしながら、技術や体力を磨いていきます。そして、身も心も、一回りも二回りも大きく成長できるように、頑張ります。今年度もよろしくお願ひします。



「野球部」

顧問 佐藤 雅彦

【全力！打撃！パワー！】
新たなスローガンとともに、新チームがスタートしました。

今年度の野球部は、四月現在、三年生九名、二年生二名の合計十一名で活動しています。野球は「投げる」「打つ」「捕る」「走る」と様々な要素が交じり合うとても難しいスポーツです。

一流選手でも毎試合完璧なプレーができる人はいません。そのため野球は失敗のスポーツともいわれます。生徒たちも練習の中で上手いかないことのほうが多く悔しい思いをします。

しかしそこで立ち止まらず、共に悩み、共に考え、互いに励まし合い、再度挑戦していく。それを楽しみながら一人一人が実践できています。野球を通じて生徒たちは日々確実に成長しています。

全力で打って、走って、守って、そして楽しむ。萩山のCグラウンドには野球部の元気な声が響きわたっています。今年度も萩山野球部を宜しくお願ひします。



「編集後記」

三月に、卒業生を見送った在校生たち。「来年は自分達が寮を・・・。」という思いで四月を迎えた人も多いかと思えます。そして、新しい出会いを経て、新たなスタートを切りました。

一緒に二年間を過ごす人たちとの生活。不安や緊張と希望や高揚感が入り混じった中、目の前のことに、一つ一つ取り組んで二ヶ月が過ぎようとしています。

ゼロからスタートした人も、萩山での生活を経てスタートした人も、スタートラインに差はあっても、自分のペースで一步一步それぞれの未来に向かって進んでいます。

三年生にとっては、進路決定を控えた一年でもあります。自分が思い描いた未来に近づけるように、一緒に考えていければと思います。

少しずつ成長していく中で、大きくなっていく子供たちの背中。

丁寧に取り組むことで、自己肯定感を育んでいく子供たち。

季節とともに、いろいろな事に取り組んでいく子供たちの様子をお伝えしていければと思います。

編集長

自立支援課長

文書管理

統括課長代理(庶務担当)

事務局

統括課長代理(福祉調整担当)

